

<p>事業名</p>	<p>パパとママでつくる家族のはじまり</p>
<p>事業者名</p>	<p>いわてUmiのいえ</p>
<p>事業の実績 （日時・場所、参加者、内容、参加者の様子など）</p>	<p>[日時] 7月 6日 土曜日 13:00~15:00 [場所] SoRa.labo [講座] 両親教室 パパとママに知ってほしい赤ちゃんの発達のこと [講師] 加田 洋子氏 [スタッフ] 3名 [参加数] 9名 妊娠中から生後3ヶ月、6ヶ月、8ヶ月の赤ちゃん、3歳、5歳、様々な月年齢の子どもと向き合う保護者の方たちが参加。</p> <p>[内容] 生まれてから歩き出すまで、赤ちゃんの体に何が起きているのか、赤ちゃんが何を考え、学び、取得していつているのかをこの日集まった赤ちゃんをモデルに知っていく。抱む、寝返る、座る、這うのような大まかな動きの間にある小さな動きの重要性を伝え、発達を促すきっかけ遊びを伝えていった。</p> <p>[様子] 参加者全員が夫婦で参加。一人一人しっかりと頷きながら聴いていた姿が印象的だった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>事業の評価 （アンケートなどの結果、良かった点、課題など）</p>	<p>[参加者の感想] 掲載可能の方のみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ④褒めて育てようと思います。自分の子がしてみたいことを後押ししてあげたいと思います。 ⑤初めての子育てで慣れないことだらけですが、このやり方でいいんだと思うことができました。いろんな遊びにチャレンジさせてあげようと思います。 ④すごく勉強になりました。もうすぐ生まれる子どもに生かしていきたいと思います。 ⑤二人子育てを経験していますが、まだまだ新たに気づくことがあり、参加してよかったです。

令和6年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書（上半期分）

	<p>今年度より実験的に午後開催にしている。 参加申込みの反応は、昨年よりもスムーズになってきている様子。</p>
その他 (特記事項等)	<p>9月29日(日)「子どもから見た親の役割」講師：篠 秀夫氏 11月26日(土)「引き算のこそだて/おもちゃと絵本の選び方」講師：棒田明子氏 2月16日(日)「パートナーシップについて(仮)」講師：後藤大平氏/吉田理恵氏</p>

令和6年度 盛岡市子ども未来基金助成事業活動報告書（上半期分）

事業名	パパとママでつくる家族のはじまり
事業者名	いわてUmiのいえ
事業の実績 (日時・場所、参加者、内容、参加者の様子など)	<p style="text-align: center;">両親教室「子どもから見た親の役割」</p> <p>[日時] 9月29日 日曜日 13:00~16:00 [場所] SoRa.labo [講師] 篠 秀夫氏 [参加数] 10名</p> <p>妊娠中から生後1ヶ月の赤ちゃん、2歳、4歳と様々な年齢の子どもと向き合う保護者の方たちが参加。</p> <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別に関わらない父性と母性の違いがあること。 ・父性、母性が子どもにとって必要な時期について。 ・親の趣味や興味は子どもも巻き込んで行動を起こすことが良い影響を与える。 ・質問 動画との向き合い方 「観ない」「見せない」という選択だけではなく、見せるときは一人で見せない。一緒に会話をしながら楽しむ。 動画をやめると怒り出す。 一緒に楽しめる趣味をやってみる。 <p>[様子]</p> <p>子どもたちは自由に過ごし、参加者の皆、最初から最後まで話を聴いていた。自由にゆったりと過ごしてくださいと伝えたものの、なかなかそうはできない雰囲気であった。</p>
事業の評価 (アンケートなどの結果、良かった点、課題など)	<p>[参加アンケート]</p> <ul style="list-style-type: none"> ⊗ スマホの動画に対する対応、参考になりました。子どもと一緒に楽しみたいと思います。 ⊗ 子どもの世界、感じ方が自分が想定していたものと異なり勉強になった。女性は共感を求めること、男性は問題を解決する行動、その違いを知った上で関わっていきたい。先生に教わった内容を整理して子育てに繋げたい。 ⊕ 人にはそれぞれ特性があること、自分の特性が知れて腑に落ちた。 ⊕ 母親の役割、父親の役割を知れたので今後の子育てに役立てたい。 ⊗ 興味深い話だったが、聴講時間が長すぎて大変だった。 <p>[課題]</p> <p>トータル3時間の講義、講師との打ち合わせが不足ノンストップで行ってしまった。トイレなどは自由にとアナウンスをしたが、参加者の立場に立てば休憩の時間を作る必要があった。</p> <p>内容が講師と参加者の関係をフラットにするべきものだったため、会場づくりを考え直す必要がある。</p>
その他 (特記事項等)	<p>11月26日(土)「引き算のこそだて/おもちゃと絵本の選び方」講師：棒田明子氏 2月16日(日)「パートナーシップについて(仮)」講師：後藤大平氏/吉田理恵氏</p>